



第84号

歴史と暮らしの赤れんが博物館



広島市郷土資料館

HIROSHIMA CITY MUSEUM OF HISTORY AND TRADITIONAL CRAFTS

大河ドラマ関連企画巡回展「平清盛の時代と瀬戸内海」



展示風景

平成24年のNHK大河ドラマはみなさまご存じとは思いますが「平清盛」です。今回の郷土資料館だよりが発行される時点では物語も佳境に入っている頃でしょう。

広島県では、平成9年の大河ドラマ「毛利元就」以来の地元ゆかりの人物ということで、観光PRも含めて盛り上げていこうとしています。その一役を担おうと大河ドラマ「平清盛」広島県推進協議会は、平清盛に関連する企画展を県内各地で巡回させています。展示内容は広島県立歴史博物館で企画・構成し、県内11市町の展示施設で順次公開されており、広島市では郷土資料館が会場になりました。

(2ページに続きます)



ひろしま郷土資料館だより

平成24年度前半（4月～10月）に実施した事業から

大河ドラマ関連企画巡回展「平清盛の時代と瀬戸内海」 2012.6.8～6.24

展示はプロローグ及び三章の構成となっていました。

プロローグでは、12世紀に伊勢平氏が、白河・鳥羽法皇による院政のもとで勢力を伸ばしたことや、清盛が武士として初めて政権を掌握し、その後の700年間にわたる武士政権の端緒になったことに触れました。

第一章では、平氏が正盛・忠盛・清盛の三代にわたって、瀬戸内海の制海権を掌握し、日宋貿易にも深く関わり、富を効率的に集める仕組みを築いた点にふれ、平氏が瀬戸内海を基盤にして力をつけた様子を紹介しました。

第二章は、安芸国や備後国では、平氏との関係を求めて在地領主が所領を平氏に寄進した結果、平氏に関する荘園が数多く作られることになったことにふれ、県内のゆかりの荘園を紹介しました。

第三章では、広島県内に残された『平家物語』の影響や平家伝承の数々を紹介しました。

これらの展示の中で紹介した県内各地のゆかりの地を通して、広島県と平

氏との関わりを感じてもらえればというねらいがありましたが、来館者の中には、ご自身の出身地が平家ゆかりの荘園だったことを知り、新たな発見をしたとの感想をもらされる方もいらっしゃいました。

また、体験コーナーとして、衣服に香の匂いをたきしめていた薫物を平安時代当時のレシピに基づいて復元し、その香りを確かめられるコーナーを設置しました。匂いのついた布を手にとって、しばし平安貴族の世界に思いをはせる方が数多くおられました。

以上の本編ともいべき展示とあわせて、NHKのご協力もあり、NHK大河ドラマ「平清盛」の企画展示コーナーも設置しました。ここではドラマを紹介する写真パネルや実際のドラマで使用した台本や小道具を展示しました。源氏ゆかりの髭切の太刀や清盛のつけていた宋銭の首飾りなどドラマの中で印象的な小道具もありましたが、何といても主演の松山ケンイチさんが実際に着た衣装が光っていました。襟元には松山さんのつけたドーランがついており、ファンにはたまらない逸



ドラマでの清盛の衣装

品だったのではないのでしょうか。

また、会期中の6月23・24日には、大河ドラマ「平清盛」広島県推進協議会のキャンペーンキャラクター「ひろしま清盛」がやってきました。これまでの清盛のイメージを一新する美少年のキャラクターで、老若男女を問わずに愛嬌をふりまき、来館者の笑顔をさそっていました。

今回の展示は大河ドラマに関連した巡回展という点で、郷土資料館としては異色の展示になりました。ドラマや平氏への関心が高かったためか、おかげさまで昨年の同時期と比較しても数多くの来館者においでいただき、担当者としてはホッとしています。

（田村 規充）



↑展示ガイドも実施



ひろしま清盛もきました

企画展「雁木 ～広島の水辺の記憶～」 2012.4.14 ～ 5.27

広島を流れる川にたくさん設けられている階段に多くの方が気付いていると思います。現在は水辺に触れ合える絶好の場所となっていますが、これらは「雁木」と呼ばれるもので、元々は船着き場として使用されたものでした。江戸時代から昭和時代初期にいたるまで、川を多くの船が物資を載せて行き交っており、運ばれた物は雁木から荷揚げされて町中に運ばれていたのです。

現在目にすることができる雁木の多くは戦後の河岸整備によって新しく設けられたものですが、中には古いものも残されています。このたびの展示では、こうした雁木にスポットを当てて紹介しました。

では、いくつか雁木を紹介してみましょう。江戸時代、雁木が多く設けられていたのは本川・元安川沿いで、特に城下町の中心部に近いところー現在の平和記念公園周辺でした。ここにはかつての面影を残す雁木が2つ残されています。一つは本川橋の西詰南側のもので、この雁木には海から川を遡ってきた海船(廻船)が多く着岸していました。舟運が衰退して以降使われなくなっ



「楠木の大雁木」

ていましたが、平成20年(2008)に、NPO法人雁木組がこの調査・整備を行っています(左下写真)。

もう一つは原爆ドーム前のものです。周辺の護岸は戦後に整備されていますが、雁木は近代に造られたものが保存されています。なお、この雁木はそのルーツを江戸時代に求めることができます。原爆ドームがある場所には広島

藩の米蔵があり、藩領内から集められた米がこの雁木から荷揚げされていました。

近代に入って物流の要衝として大発展した雁木もあります。広島市西区横川町1丁目と楠木町1丁目の境目にある「楠木の大雁木」と呼ばれる雁木がそれです(右上写真)。江戸時代には幅5.5メートル程度の規模で、渡し船の船着き場だったようです。明治31年(1898)に当時の山陽鉄道の横川駅からこの雁木近くまで支線が敷設されました。海からあるいは県北部から船で集めた物資を、ここで列車に積み替えることが可能になり、雁木は水陸交通の結節点として大拡張され、「大雁木」と呼ばれるようになったのです。現在は規模がかなり小さくなりましたが、今も市内最大級の雁木です。

京橋周辺には近代になってから個人が使用する目的で作ったプライベート雁木も多くのこされています。たまには水辺に出かけ、これらの雁木が語る広島の水辺の歴史にも耳を傾けてみるのはいかがでしょうか。

(本田 美和子)



本川橋西詰南側の雁木



ひろしま郷土資料館だより

夏休みイベント「おばけの夏休み」 2012.7.31~8.31

恒例となりました、郷土資料館夏のイベント「おばけの夏休み」。

5回目の今年は「海」のおばけが資料館に大集合しました。古めかしい民具と海にまつわる妖怪やおばけに、子どもから大人まで驚いたり叫んだり…。

なかでも一番みんなを怖がらせたのは、白い着物姿で底の抜けた柄杓を持った船幽霊ではないでしょうか。長〜い黒髪をふり乱して物陰から飛び出してきたおばけに一番驚いていたのは、率先して家族の先頭を歩いていたお父さんが多かったような…？

また、同時開催の「夏休みカンタン工作」では、おばけや昔の遊びをテーマにしたおもちゃを作りました。中にはおばけ屋敷に持って入るとちょっとした仕掛けのあるおもちゃもあり、みなさんに喜んで頂くことができました。

(賀瀬 瑠実子)



「ナイトミュージアム」 2012.8.4

現代生活ではなかなか体験できなくなった夜の暗闇を味わおう！——そんなコンセプトで行っている夏の恒例事業「ナイトミュージアム」。来館される方により楽しんでいただこうと、今年はいくつかの新企画を盛り込みました。

ひとつは、地元南区に伝わる伝説を題材にした紙芝居を上演したこと。そしてもうひとつは、2人のピエロさんによるバルーンアート・パフォーマンスで来館者をお迎えしたことです。ともに反響は上々で、多くの方に喜んでいただきました。

さらには、和琴の調べで心を和ませたり、お化け屋敷でちょっとしたスリル感を味わったり……。こぢんまりとしているけれどいろいろ楽しめる夏の風物詩として、地域に定着していくよう今後も工夫を凝らしていきたいと思っています。

(稲坂 恒宏)



ピエロがくりだすバルーンアートは
子どもたちに大人気

教室事業

伝統的な物づくりや昔の食文化などを体験する教室事業の記録です。今年は大人向け教室に草木染めが登場しました。

4月 7日 (土) 花見団子作り
28日 (土) かしわもち作り
29日 (祝) //

5月20日 (日) 陸上・水上から見る広島
の雁木
27日 (日) 手ぬぐい作り
6月 9日 (土) 藍でハンカチ染め
16日 (土) //

6月22日 (金) 藍染めTシャツ作り
(大人)

7月 7日 (土) 七夕飾り作り
16日 (祝) 藍染めTシャツ作り
22日 (日) 漆喰ボール作り
28日 (土) うちわ作り

8月19日 (日) 勾玉作り
31日 (金) 大人の染色教室(大人)

9月17日 (祝) 紙芝居とおはぎ作り
30日 (日) 月見団子作り

10月 8日 (祝) まゆ玉工作
10月14日 (日) 伝統技術を学ぶ(大人)



ごんぎつねの紙芝居を見たよ。とっても
かなしいお話だね……

夏休みカンタン工作

おばけをテーマにしたおもちゃや暗い所で光る工作などを行いました。

7月24日(火)・25日(水)

くるくる紙コプター

7月26日(木)・27日(金)

親子かざぐるま

7月31日(火)・8月1日(水)

紋切りのしおり

8月2日(木)・8月3日(金)

ふうせんの光るおばけ

8月7日(火)・8月8日(水)

のび～るカメレオンスティック

8月9日(木)・8月10日(金)

かんたん万華鏡

8月14日(火)・8月15日(水)

おばけのくるくるアニメ

8月16日(木)・8月17日(金)

ぐにゃぐにゃ風

その他の事業・館外活動など

館外での講座や工作教室での指導などの記録です。

5月3日(祝)～5日(祝)

フラワーフェスティバル会場にて
「かんたんからくりこいのぼり」

5月7日(月)

中の棚商店街にて
講座「広島城下町の暮らしと商い」

5月26日(土)

広島城メモリアルデーにて
「かんたんのぼり人形」

6月10日(日)

第17回路面電車まつりにて
「かんたんのぼり人形作り」

6月14日(木)

仁保公民館にて広島学セミナー
講義「宇品陸軍糧秣支廠と広島の缶詰業」

7月20日(金)～25日(水)

アステールプラザ「夏休み子ども企画
～海賊たちのお化け屋敷～」にてイベント補助

7月29日(日)

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館にて
講座「川と人びとの暮らし」

8月1日(水)

広島市青少年センターにて
講座「学ぼう！ひろしまの川」

8月5日(日)

安佐北区民文化センターにて
「勾玉作り」指導

8月6日(月)

郷土資料館内にて被爆建物案内

8月22日(水)

安芸区民文化センターにて
「藍でハンカチ染め」指導

9月16日(日)

己斐公民館にて「月見団子作り」指導



フラワーフェスティバルにて毎年恒例ののぼり人形づくり

博物館実習・インターンシップ

【博物館実習】

博物館で勤務する学芸員の実習を今年も受け入れました。4大学97名が施設見学実習を行い4大学6名が館務実習を行いました。館務実習においては、学芸員としての基礎技能に関する講習と、イベント・教室事業に従事していただいたほか、館外での学芸員の仕事についても見学していただきました。

【インターンシップ】

夏休み期間を中心に4大学7人のインターンシップ実習生を受け入れました。主に夏休みの事業である「おばけの夏休み」において、お化け屋敷の管理、カンタン工作の指導にあたっていたいただきました。今年のインターンシップ実習生の特徴は、将来の仕事の選択肢として、博物館を考えている人が多かったことでした。自分に役立つ何かを一つでもつかんでいてくれたら良いと思います。

(本田 美和子)

【博物館実習】

6月1日(金)

安田女子大学 博物館見学実習

6月3日(日)

広島修道大学 博物館見学実習

6月14日(木)

広島県立大学 博物館見学実習

6月27日(水)

広島文教女子大学 博物館見学実習

7月29日(日)～8月5日(日)

博物館館務実習

【インターンシップ】

8月7日(火)～11日(土)

比治山大学1名

8月14日(火)～18日(土)

近畿大学2名

8月19日(日)～24日(金)

県立広島大学3名・安田女子大学1名



ひろしま郷土資料館だより

寄贈資料(平成24年4月～平成24年10月受入分)

資料名	点数	寄贈者(敬称略)
「精米詰合」内容説明書	3	岡本博元
日露戦役凱旋記念繪葉書(写真①)	1	
宇品陸軍糧秣支廠関連資料	工具	岡村祥二
	挟ゲージ	
	表彰状	
	記念盃	
	手刷り冊子「罐詰製造指針」	
	手刷り冊子「罐詰密封充填料トシテノ液体ゴムニ関スル研究報告書」	
	手刷り冊子「ブリキ選別法ニ就テ 他」	
	手刷り冊子「一 輪廓投影測定機ニ依ル「ロール」及「チャック」の構造」	
	手刷り冊子「罐詰食用上の心得」	
	手刷り冊子「日本製鐵株式会社製「ブリキ」試験成績報告書」	
手刷り冊子「罐詰製造法」	1	
リーフレット「罐詰巻縮検査標準」	1	

貴重な資料をご寄贈くださいましたみなさま、ありがとうございます。



①日露戦役凱旋記念繪葉書



②赤ヘル燃ゆ

資料名	点数	寄贈者(敬称略)		
宇品陸軍糧秣支廠関連資料	機械関係出版物「東洋チェーン設計資料第四輯」	岡村祥二		
	機械関係出版物「No.00 MODEL6 SANITARY SEAMER」			
	広島糧友会終戦50周年記念配布物			
	冊子・手書き原稿用紙断片			
	写真 「庁舎前記念撮影」等			
	繪葉書 「宇品陸軍糧秣支廠 搦精工場」等			
	「最近水産製造講義 上巻」			
	第三回携帯缶半田附着量試験成績表			
	週刊アサヒ芸能・緊急増刊「赤ヘル燃ゆ!」(写真②)		1	牛黄蒼豊

平成24年度後半の企画展・イベント

企画展 「ごんぎつね」が語る昔の暮らし

【会期】9月8日(土)～12月24日(祝)

童話「ごんぎつね」のストーリーを交えながら、童話に登場する昔の道具や情景を再現・展示し、昔の人びとの暮らしを紹介します。

特別展 広島路面電車100年

【会期】10月20日(土)～12月16日(日)

大正元年(1912)の開通以来100年にわたって市民の生活に重要な役割を果たしてきた路面電車の歩みと、広島市の街の発展をたどります。

企画展 干潟の恵み～カキとノリの物語～

【会期】1月19日(土)～3月24日(日)

広島湾頭に広がる干潟を利用して発展したカキ・ノリ養殖業の歩みを振り返りながら、広島市の歴史と干潟のかかわりをさぐります。



現南区丹那沖に広がっていた干潟(1953年)

ひろしま郷土資料館だより 第84号

【編集・発行】

(財)広島市未来都市創造財団 広島市郷土資料館

〒734-0015

広島市南区宇品御幸二丁目6-20

TEL (082)253-6771 / FAX (082)253-6772

【発行年月日】

平成24年(2012)10月31日



広島市郷土資料館

HIROSHIMA CITY MUSEUM OF HISTORY AND TRADITIONAL CRAFTS